

九州大学病院 輸血マニュアル 簡易版

緊急輸血【PHS 2491】

緊急度レベルを技師に伝える

レベル1：絶対的危機的出血

レベル2：危機的状況スタンバイ

レベル3：通常どおり

緊急時の適合血の選択		
患者血液型	RBC	PC・FFP
不明	O	AB
A	A>O	A>AB>B
B	B>O	B>AB>A
AB	AB>A=B>O	AB>A=B
O	O	全て可

血液型検査 不規則抗体検査

2回分の同時採血は禁止

患者氏名と検体ラベル名の一致を確認



まずは初回

治療系 → 輸血 → 輸血検査(初回)

2回目以降 T&S ≡ クロスマッチ用

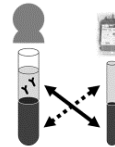
治療系 → 輸血 →

輸血検査(2回目以降T&S、クロスマッチ)

クロスマッチ

期限は、採血日含め7日間

RBC(赤血球)輸血時に必要



検体提出のオーダー

治療系 → 輸血 →

輸血検査(2回目以降T&S、クロスマッチ)

実際の検査は、RBCオーダー時に実施

PC、FFP、ALBのオーダー時は不要

輸血実施

	容量	保存方法	薬価(円)
赤血球濃厚液 RBC	2単位 280mL	4℃ 冷蔵庫	Ir-RBC-LR-2 17,726
濃厚血小板 PC	10単位 200mL	22℃ 振とう	Ir-PC-LR-10 79,875
新鮮凍結血漿 FFP	4単位:480mL 2単位:240mL	保存中:-20℃ 融解後:4℃	FFP-LR480 23,617

患者バーに注意アイコンがあるとき



血液型等、輸血に注意が必要
カーソルを合わせ、コメントを確認

輸血同意書

輸血の可能性がある患者は必ず取得

入院患者:入院毎

外来患者:1年に1度以上

緊急時も、可能な限り取得する

まずは同意書を作成

同意書 ← カルテ系 文書作成 より作成

同意取得後はカルテに記録

ICの内容と同意状態を入力

血液製剤請求

輸血適応は、毎回、十分に検討する

「通常輸血」「手術用(待機OP)」が基本

「通常(基準外)」は、極力避けること。

緊急時はレベル1

患者バーに注意アイコンがあるとき

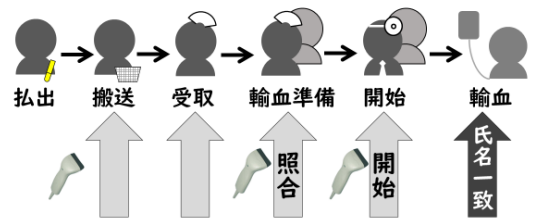


血液型等、請求に注意が必要
カーソルを合わせ、コメントを確認

輸血実施 製剤-患者確認

受け渡し時は、必ず確認

「照合」「開始」は、複数で確認し記録



輸血実施 確認内容

全部で8箇所

